

第34回通常総代会当日の
質疑応答

総代会では3名から8項目の発言がありました。発言及び回答の概要は以下のとおりです。

1. お楽しみ頒布会の次回お届け商品の確認方法について

Q お茶やおせち等の予約商品は納品書兼請求書の「次回以降のお届け商品欄」に載っていて予約商品が重複しないように確認できるようにになっていますが、お楽しみ頒布会の商品注文は確認できないようなので、予約商品と同じように確認できるようにしてほしいです。

A 現在の頒布会の運用方法は利用登録のシステムを活用していますので、予約商品のように納品書兼請求書の「次回以降のお届け商品欄」にはシステム上掲載できない仕組みとなっています。頒布会で注文いただいた商品は、納品書兼請求書の「お知らせ」のコメント欄にお届け週の商品と次回お届けの商品について掲載しています。

8月の頒布会では、センターニュース配付の際に「次回お届けの商品は【お知らせ】の欄に記載されます」という文言を記載し、組合員にお知らせしたいと思っています。

2. お楽しみ頒布会の次回お届け商品のコープアプリでの確認方法について

Q 紙の納品書兼請求書のどこにお楽しみ頒布会の次回お届け商品が印字されているかは分かりましたが、配達時にカタログと一緒に届く紙の納品書兼請求書でしか確認はできないのでしょうか。コープアプリで注文して、コープアプリで納品書兼請求書を見る組合員がお楽しみ頒布会の次回お届け商品を確認する方法はないのでしょうか。

A 紙の納品書兼請求書に記載されている【お知らせ】のコメント全文はコープアプリの納品書でも全文記載されていますので、お楽しみ頒布会の次回お届け商品はコープアプリでも確認することができます。

3. 白山台センターの業務車両で使っている電気自動車について

Q 環境に配慮するために電気自動車を導入したと思いますが、維持費はハイブリットとガソリン車と比較してどうでしょうか。また、バッテリー性能は寒くなると低下するため、冬は夏の半分の走行距離になると聞きました。実際に機能的なのか教えてください。

A 電気自動車は、白山台センターの補助金の制度を満たすためと温室効果ガスを削減し、環境に配慮した車両であるため導入しました。軽バン型の車両でハイブリッド仕様はありませんが、従来のガソリン車と比較したリース料は、電気自動車の方が月額21,000円高いです。冬季におけるバッテリー性能の低下（航続距離の低下）といったEV特有の性質を考慮し、安全面と効率性の観点から使用範囲を白山台センター周辺に限定しています。ただし、春から秋にかけては主力車両として集中的に活用しています。

4. 地域リーダー会の代表・副代表の年齢制限見直しについて

Q 26年度の地域リーダー会のでびきが送付されていないので25年度と同じであるものとして発言します。それぞれの任期は1期2年4期まで、70歳を越えてはできない。70歳を越えた場合は1期2年のみとあります。社会の現状に合わせ、活動に年齢制限は設けてほしいとあります。年齢制限があることで仕事をしているリーダーを除くとほぼ70代です。理事経験者は代表・副代表になれないルールもあるため来年度は空白になつてしまう可能性がありますので、年齢制限の撤回を要望します。

A 地域リーダー会の代表・副代表の年齢の目安及び任期は、2022年に「次世代へのスムーズなバトンタッチ」を目的に地域活動協議会において決定された経緯があります。また、2025年の総代会においても同様の意見があり、地域活動協議会で再度協議し、現状のままということになりました。しかし、この度の意見を受けて時代の変化や地域ごとの現状に即して、地域リーダー会代表・副代表の任期について見直しの検討を進めていきます。

布されていないことについて、一部変更があったこと、作業が遅れていることもあり、7月中に配布予定で

5. 委員会会計の活動費について

Q 委員会の会計担当の活動費を上げてほしいです。毎月の活動に対して今の活動費はとも少ないと思います。委員長と同じくらいの活動をしていいますが活動費にかなり違いがあると思っています。委員会でもなり手が少なくなせめて活動費だけでも思いがけずあります。会計担当に聞いてみると、少ない金額でも預かっているの責任をとても感じているし、ストレスになっているとのこと。毎月会場を借りたり、銀行に行ったりもしています。私も何回か委員会報告に記入しましたが、回答を得られていません。かなり前に出した要望です。既に回答は出ていると思いますので、回答をお願いいたします。

A 委員会の会計担当の活動費について、今後、活動費及び会計作業の負担軽減などを含めた見直しに取り組みます。また、回答が届いていなかったことについて、大変申し訳ございませんでした。今後は資料への回答掲載のみならず、個別に回答をお返す仕組みに改善します。

6. 委員会の活動費について

Q 委員会の材料費の助成金は1人300円までと「こころ」に記載されていますが、昨今の物価高で1人300円は足りないとあります。参加者からも参加費はいただいているが、これからの物価高は続き、参加者の参加費負担も大きくなつてしまっています。材料費の助成金を見直しを早急にしてほしいです。

A 昨今の物価高によって企画運営の大きな負担になっていいると思われま

7. 広報紙「はばたき」について

Q 広報紙「はばたき」において、松原店舗・西弘店舗の委員会活動のこ

ころで誤りがあった際、翌月に訂正するとのことでしたが、翌月の広報紙「はばたき」の枠の外の一冊下のところに小さく載っていました。広報紙「はばたき」の紙面の大半部分に訂正が入ると思っていたのですが、注意深く見ないと見逃すような状況でした。訂正事項は広報紙「はばたき」の枠の中に入れて分かりやすくしてほしいです。

8. 広報紙「はばたき」2026年1月号について

Q 広報紙「はばたき」1月号という

A 広報紙「はばたき」の表紙は重要だと感じています。季節やコープあ



受付（総代会終了後）でアンケートに答えていただいた方にコープすけキッチンペーパーをプレゼントしたり、各地域の企画・つどいで制作した手芸や小物、1年間の取り組みを展示したりしました。